



人口動向を踏まえた学校施設の方向性について

創志会 宇田川 希

問 海老名駅西口地区周辺におけるマンション建設などの開発が進むことに伴う、今泉小学校区の児童数の急激な増加については、今から対応策を講じる必要性を強く感じています。学校施設再整備計画に基づき、児童数の推計や対応について、市ではどのように考えているのか伺います。

答（教育部長） マンション建設などにより今泉小学校の児童数は年々増加傾向にあります。現在、23クラス、694名ですが、推計では児童数が最大になる時期は、令和12年度で約1500名となることが見込まれています。

今後、令和4年度から教室数の不足が見込まれるため、校舎の増築を行うとともに、学区の一部を選択制にするなどの対策を講じてまいります。長期的には、児童生徒数が増加する地域と減少する地域が二極化することが見込まれていることから、広域的な学区の見直しや統廃合などの学校再編についても必要に応じて検討してまいります。

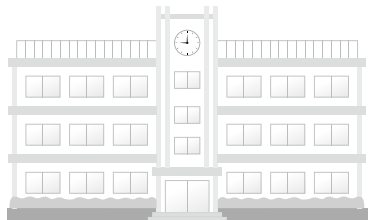
問 現時点で想定している増築の規模や内容、建設場所などについて伺います。

答（教育部長） 現時点では最大で、普通教室が18教室程度の不足が見込まれ、さらに、音楽室など特別教室の複数配置の必要性や多目的ルームの設置なども検討が必要となります。増築する校舎の建設場所は、現在の学校敷地内西側のプール跡地やグラウンド側などを考えています。また、校舎の構造は、国庫負担金など含めたコストや既存校舎の老朽化の状況なども含めて検討しています。

その他の質問

・新たな教育課題への対応について

・さがみ野駅周辺のまちづくりについて



厚木駅南地区再開発事業について

いちごの会 田中 ひろこ

問 今まで地域住民への説明会を開催しなかった理由と説明会出席の呼びかけや事業計画書の配布を一部の住民に限定した理由を伺います。また、説明会の議事録を公開すべきと考えますが、見解を伺います。

答（まちづくり部長） これまでも、地元自治会、役員を対象に説明を行ってきた経過があります。また、今回の説明会は、再開発区域縁辺部50[㎡]の住民と9時から15時まで地上に日影が落ちる居住者に周知するよう条例上の決まりがあります。

説明会の議事録については、申し出ただければ市街地整備課でいつでも見られます。

問 計画では、車は県道からロータリーに出入りできません。緊急車両の進入経路および駐輪場やロータリーの機能、さつき町住民の商業施設利用について見解を伺います。

答（まちづくり部長） 緊急車両については、出入りできるように検討を進めていきたいと思います。駐輪場の変更はなく、ロータリーにはタクシーや一般車の乗降場、身障者用スペースなどを設置する予定です。コミバスの乗り入れや商業施設の利用については、今後、研究してまいりたいと思います。またロータリー内には、大型車両は進入できない状況ではありませんので、市民まわりの送迎バスについては、これまで同様、海老名駅を発着したいと考えています。

問 工事車両の出入口などの周知方法について伺います。

答（まちづくり部長） 再開発組合側でホームページの開設計画を検討しており、さらに、工事が始まる一カ月前に、今後の予定を近隣住民に見えるような場所に掲示して、周知を図っていくことを考えています。

その他の質問

・投票率を上げるための取り組みについて



プラスチックを使わない

いちごの会 西田 ひろみ

問 海に流れ出たプラごみープラスチックのごみは、太陽や波で劣化しマイクロプラスチックになります。魚が餌と間違えて食べると、石油製品ですので消化する胃液で環境ホルモンなどを派生させ、その魚を食べた人間の生殖機能へ影響を与えると科学者は警鐘を鳴らしています。プラスチックの使用を削減して、プラごみの発生を抑制し、資源が循環する仕組みづくりが必要と考えますが、今後のプラスチック削減に向けた市の見解を伺います。

答（市長） 昨年度策定した家庭系ごみ減量化基本方針に環境に配慮した指定収集袋の使用を盛り込むなど、国や県に先駆けてレジ袋削減に取り組んでいます。今後もプラごみ削減に向け、率先した取り組みを続けたいと考えます。

答（経済環境部長） 資源化センターの改修によって処理能力が向上し、資源物の安定的な処理が可能となります。改修前の2016年度に容器包装リサイクル協会に出した量、民間事業者処理委託した量と費用を伺います。

答（経済環境部長） ペットボトル、容器包装プラスチック、その他プラスチック合計で同協会へ1288^ト、民間事業者へは966^トで、委託料は約2600万円でした。

問 全額とは言いませんが、改修によって不要になる委託料は、イベント時に植物由来の食器を使うなど、プラスチックを使わないまちづくりに充てられると思います。事業系のプラごみ対策も必要で、市民・市・事業者が連携したプラスチックの使用削減が重要になります。資源化センターのリニューアルを機に「海老名脱プラ宣言」をしてプラスチックをなるべく使わない生活の提唱に市全体で取り組んでいただきたいと思います。見解を伺います。

答（経済環境部長） 国や県の動向も注視し、環境基本計画の見直しの中で対応を検討していききたいと思います。

その他の質問

・学校給食について